

イノシシはこのよう動物

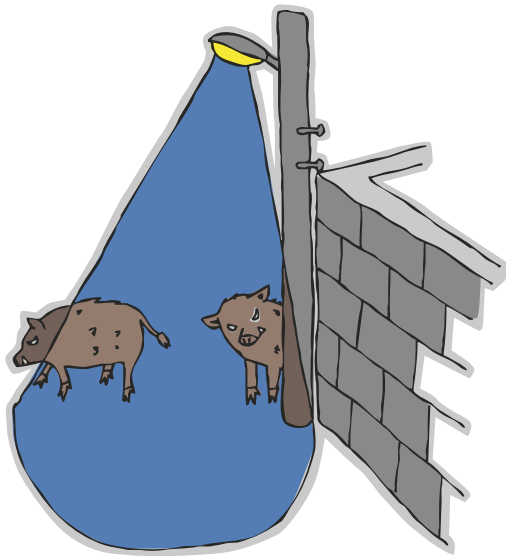
力が強い

- 強い鼻で土や大きな石も掘り返し、ミミズや昆虫などの他に、カエルやヘビや草木の根などを探して食べる。



用心深い

- 危険を感じなければ明るい時間帯に活動するが、人のいるところでは夜に活動する。
- 板柵などで先が見えない障害物は、無理に突破しようとしな



学習能力が高い

- 一度食べたおいしいもの(栄養のあるもの)を忘れない。
- 仲間が柵をうまく抜けたりするのを見て同じ行動をする。
- ワナなどで危ない経験や怖い思いをすると、次からワナを避ける。

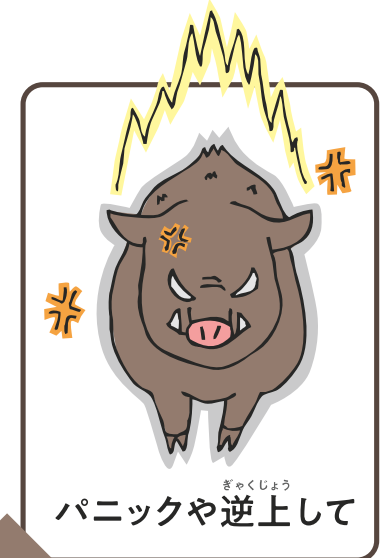
冬眠しない

- 雪がたくさん積もると、歩きやすい沢筋や、除雪された道路に出てくる

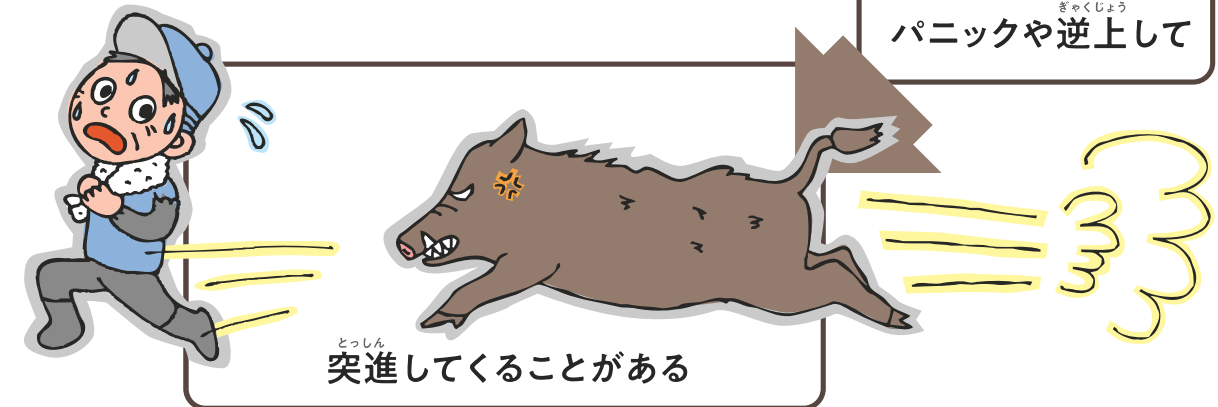


逃げ場のない場所でバツリであうと

攻撃的なきももある



パニックや逆上して



突進してくることがある

俊敏で速く走れる

- 時速50km(自動車と同じ速さ)以上。ジャンプ力も1メートル!

毛が剛毛

- 太くて密生した固い毛を持っているので、毛が電気柵に触れても平気(鼻は敏感)。



牙がナイフのように鋭い

イノシシの一年（おもな食べ物と行動）

食べ物

春 ミミズなど土中や落葉下の生物 ・クズなど草木の根 ・タケノコ ・畑の作物
 稲 ・ナラやクリやカキなど地面に落ちた木の实 ・野菜クズ ・その他

夏

秋

冬

雪の下や土の中の植物や虫など

そう、地球温暖化による暖冬少雪で、阿賀町もイノシシがすごく増えているんだよ!



昔の阿賀町は厳しい冬と深い雪があったからイノシシがいなかったのね!



- でやすい場面や場所**
- 農作業、山仕事、山菜採り
 - 竹林
 - 朝晩薄暗い時間、農地の近く（年中）
 - 田畑・実のなる木の近く
 - 日当たりの良い土地

行動の特徴

春
 春先は日当たりのよい斜面に密生したクズ根などを掘りあさる。

夏
 森の中や田畑の縁でミミズや昆虫やカエルを探して掘り返す。

秋
 地面に落ちたドングリやクリなど木の实も積極的に食べる。

晩秋～冬
 降雪期に向けて食欲が旺盛になり、食べられるものは何でも食べる。

田畑の周りを掘り尽くすと、森林や人家の周りにもエサを求めてあらわれる。

初冬～
 雪の多い寒い地域では、幼獣を中心に冬を越せないイノシシが多く発生する。

積雪期
 エサを求めて雪のない時期よりも広い範囲を移動する。

下雪が固まって凍るとエサが探しにくくなり、雪が深い時期には沢筋や杉林や、除雪された道路にも出没する。

基本的習性

- 春と秋に子どもを産める。1歳のメスは85%、2歳のメスではほとんどが子どもを産める。
- 一回の出産で平均4～5頭の子を産む。
- 泥をからだにすりつける「泥浴び」をよく行う。
- 母親と子どもで群れを作る。メス群の行動範囲（無雪期）は半径1km程度。
- オスは単独行動する。通りなれた「ケモノ道」を往復してエサ場を移動する。

これらの習性は一般的なもの、実際には個体差があり、予想外の行動をすることがあります!

山にエサがあって積雪が多くない年には、イノシシが爆発的に増えます!